

日曜日礼拝順序

憩いの場

2017年3月5日 午前11時 南部チャペル

“怒りの対処について”

前奏 頌栄	539	武井里花姉
開会の祈り 主の祈り 交読文	17 詩編65篇	Scroggins 由紀牧師 一同
賛美歌 祈りの時	7 “主のみいつとみさかえとを”	Scroggins 由紀牧師
聖書拝読	コロサイ人への手紙1章15-20節	坂田淑姉
賛美歌	239 “さまよう人々、たちかえりて”	
説教	“キリストによる平和”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌 献金	228 “ガリラヤの風	かおるあたり” 加納幸子姉
賛美歌 聖餐式	205 (1-2節)	Scroggins 由紀牧師
賛美歌 報告	205 (3-4節)	
頌栄 祝祷 後奏		Scroggins 由紀牧師 武井里花姉

(礼拝終了:奉仕開始)

“怒ることがあっても罪を犯してはならない。憤ったままで日が暮れるようであってはならない。” (エペソ人への手紙4章26節)

早いもので、もう3月です。レントの季節が始まりました。今年は皆さん、どのようにこの時期を過ごされているのでしょうか。神の御前にて悔い改めをする季節に、私たちは聖書のみ言葉を読み、自分自身の罪を悔い改めます。多くの罪の中で、私たちが特に注意すべきなのは怒りではないでしょうか。怒りの力は、そのままではとても破壊的です。しかし同時に、正義や人権が犯されたときに感じる怒りについて、聖書は感じるなど言っているのではないことを、私たちは覚えるべきでしょう。怒りという感情は不適切に閉じ込められると、あとで出てくる可能性もあり、また自分や他人に罪を犯す原因ともなります。大事なのは怒りをどのようにして、適切な方向に向けて対処するかではないでしょうか。たとえ怒りを感じても、それを、無意味にまき散らすことと、クリスチャンとして神の国の正義を求め、行う原動力にすることでは大きな違いがあります。また、正義の怒りは適切に対処すればクリエイティブな芸術、創作にまで高めることもできます。

ご聖霊の証印を受けた信徒たちは、怒りという人間にだれでもある感情を持って、それを人間的な罪から切り離す力を神から与えられています。この悔い改めの季節において、私たちが怒りを対処することによって罪から解放されますように。一切の悪意を捨て去り、主イエスに倣って、神のご慈愛の中で生きられますように、お祈りしています。(Scroggins 由紀)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

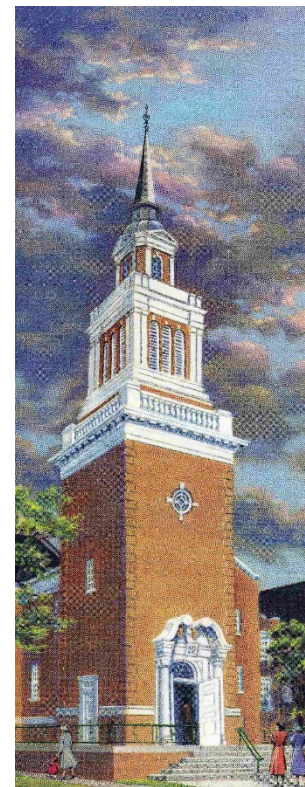
記事: 消息

— 陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師、英語部の Kate Whitmore 姉、日本に戻られた小坂るみ姉、加納姉のお孫さんの Casey 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

— 2月26日は“神の愛とは”と題して、マタイによる福音書5章43-48節からでした。自分の敵を愛しなさい。というみ言葉から、神の愛、アガペーについて考えました。神のご慈愛は、万人に太陽を登らせ、雨を降らせてくださいます。私たちはともすると、世にはびこる憎しみのメッセージに影響されてしまいがちですが、信徒として聖書にある神のご慈愛と平和について考え、行動できますようにお祈りします。

お知らせ

— 3月19日は、午後12時30分より、スペインの宣教旅行のためのファンディングランチがあります。その後2時から、現政権による移民政策改正のなかでの人権保護をテーマとする、“Know Your Rights”と題した無料セミナーが Howel Hall において行われます。皆さん、どうぞご参加ください。



週報

第3616号
2017年 3月5日

発行: 2017年3月1日 ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200 Ext. 26

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org